

癌化学療法輸液約束処方 腎3

癌種 腎癌
レジメン名 腎3 NIVO+IPI

薬品名(商品名)	一般名	略号	標準投与量	投与経路	投与時間	投与日	1クール期間
オブジーボ	ニボルマブ	NIVO	240 mg/body	div	30分	DAY 1	21日
ヤーボイ	イピリムマブ	IPI	1 mg/kg	div	30分	DAY 1	

[DAY 1]

- ① NS 50ml / 5分
- ② NS 100ml + オブジーボ 240 mg / 30分 ☆フィルター使用
- ③ NS 50ml / 30分
- ④ NS 50ml + ヤーボイ _____ mg / 30分 ☆フィルター使用 最終液量30mLに調製
- ⑤ NS 50ml / 5分

【注意事項】

- ・ヤーボイ:最終濃度1-4mg/mlに調製(最終液量を30mLとする) オブジーボ:30kg未満の患者の場合、最終液量100mLに調製
- ・投与開始前及び投与中にTSH、FT3、FT4などを定期的に測定。
- ・有害事象に対し副腎皮質ステロイドを投与する際に、HBVの再活性化に注意。
- ・4クール投与後、オブジーボ単独投与(腎2)へ移行
- ・パワーポート、BARD Xポート(シリコンカテーテル)使用不可

<休薬規定>

- ・AST,ALT \geq Grade2 ・間質性肺炎: G1→投与延期を検討、G2→投与延期、G3→投与中止
- ・有害事象 \geq Grade2 ・重症筋無力症、筋炎、:投与中止
- ・自己免疫疾患の発症 ・大腸炎、下痢: G2→投与延期(G1→再開)、 \geq G3→投与中止
- ・下垂体炎 ・肝機能障害: G2→投与延期(ベースラインまで改善→再開)、 \geq G3→投与中止
- ・内分泌障害、副腎クリーゼ:投与延期または中止
- ・神経毒性: G2→投与延期(ベースラインに改善→再開)、 \geq G3→投与中止
- ・皮膚毒性: \geq G3→投与延期(G1→再開)
- ・腎毒性: G2→投与延期(G1→再開)、 \geq G3→投与中止
- ・1型糖尿病、脳炎、静脈血栓症: 専門医と連携し投与中止も検討

2020.10.26 改訂